

# 中間連結決算の状況

## 中間連結決算の状況

(単位:百万円)

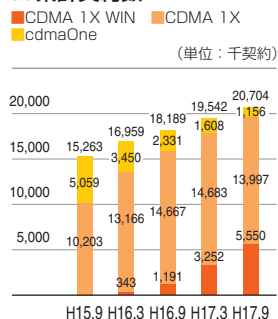
	営業収益 (前年同期比)	営業利益 (前年同期比)	設備投資額	減価償却費
au事業	1,117,786 (+10.4%)	185,230 (+29.0%)	117,161	103,089
固定通信事業	286,182 (△ 3.6%)	△29,485 ( - )	55,942	41,495
ツーカー事業	101,270 (△15.0%)	10,552 (△ 6.3%)	1,139	20,315
その他事業	45,236 (+17.7%)	1,508 ( - )	1,806	2,025
連結	1,468,772 (△ 0.2%)	166,670 (+ 2.6%)	176,050	166,636

(注) 1. 記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。  
2. 上記の連結は、連結調整等の記載を省略しており、各事業の合計と一致いたしません。

### au事業

第3世代携帯電話サービス「CDMA 1X WIN」が、先進的なデータサービスの投入や定額制データ通信料金の拡充等により、順調にご契約者数を増やしています。これにより、au全体のご契約者数の中間期における純増シェアが、3年連続でNo.1となりました。この結果、当中間期の営業収益は前年同期比10.4%増、営業利益は前年同期比29.0%増となりました。

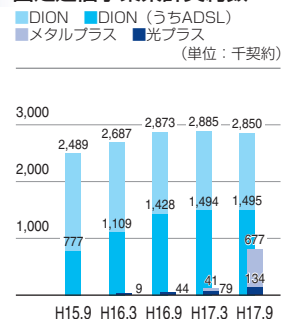
#### au累計契約数



### 固定通信事業

既存音声電話の収入は、携帯電話、メールやIP電話への移行に伴い減少が続いています。そのため、高品質で低料金のIP電話サービス「KDDIメタルプラス」や、超高速光ファイバーによる通信サービス「KDDI光プラス」等を積極的に販売することで、より収益性の高い事業構造へ転換を図っています。当中間期の営業収益は前年同期比3.6%減となり、29,485百万円の営業損失となりました。

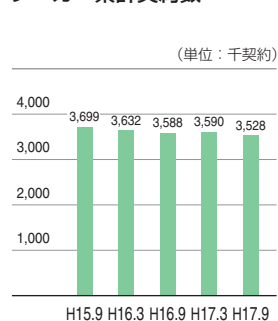
#### 固定通信事業累計契約数



### ツーカー事業

音声通話専用のシンプルな携帯電話「ツーカーS」が、シニア層の方々を中心にご好評をいただいている一方、プリペイド型携帯電話のご契約者が、本人確認強化の影響もあり減少しました。この結果、ツーカー全体のご契約者数は減少しましたが、徹底したコスト管理の下で効率的な経営を行いました。当中間期の営業収益は前年同期比15.0%減、営業利益は前年同期比6.3%減となりました。

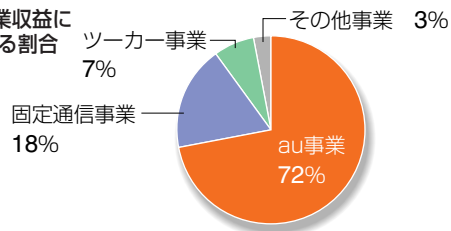
#### ツーカー累計契約数



### 連結決算

これらの結果、当中間期のKDDIグループ連結損益状況につきましては、営業収益は1,468,772百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は166,670百万円(同2.6%増)、経常利益は164,919百万円(同5.5%増)、中間純利益は101,438百万円(同30.3%増)となりました。そのうち、主力のau事業の占める割合は、営業収益で72.1%と、グループ業績を牽引しています。

#### KDDIグループの営業収益における各事業の占める割合



# 中間連結財務諸表

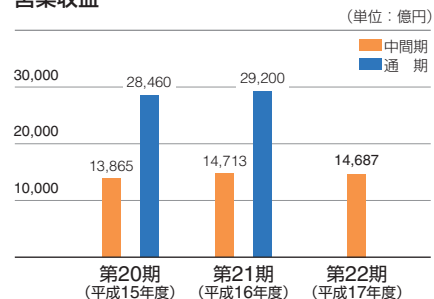
## 中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

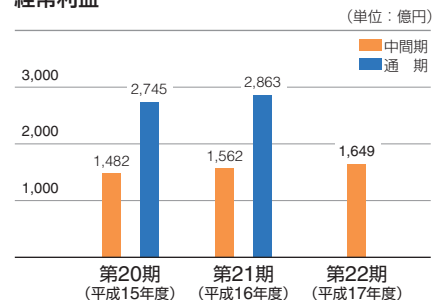
	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
<b>電気通信事業営業損益</b>		
営業収益	1,179,126	1,172,869
営業費用	1,019,308	1,010,451
営業利益	159,818	162,418
<b>附帯事業営業損益</b>		
営業収益	292,196	295,902
営業費用	289,588	291,650
営業利益	2,608	4,252
<b>営業利益</b>	<b>162,427</b>	<b>166,670</b>
営業外収益	8,411	8,832
営業外費用	14,563	10,582
<b>経常利益</b>	<b>156,275</b>	<b>164,919</b>
特別利益	126	619
特別損失	20,889	482
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>135,512</b>	<b>165,057</b>
法人税、住民税及び事業税	53,458	60,836
法人税等調整額	472	955
少数株主利益	3,740	1,827
<b>中間純利益</b>	<b>77,841</b>	<b>101,438</b>

（注）記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。

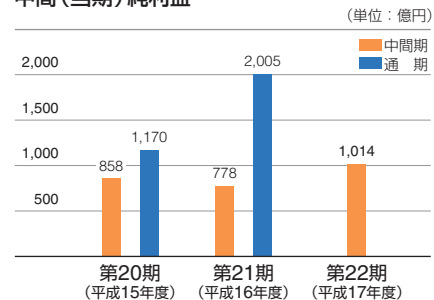
### 営業収益



### 経常利益



### 中間(当期)純利益



# 中間連結財務諸表

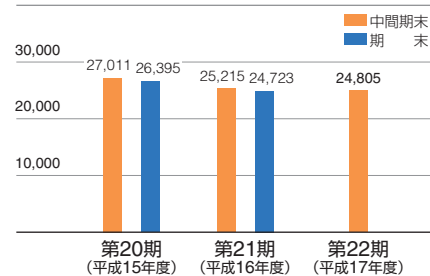
## 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	前期末 (平成17年3月31日現在)	当中間期末 (平成17年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
固定資産	1,784,908	1,802,077
電気通信事業固定資産	1,573,910	1,573,285
有形固定資産	1,379,353	1,376,485
無形固定資産	194,557	196,799
附帯事業固定資産	36,663	36,883
有形固定資産	33,331	32,992
無形固定資産	3,332	3,890
投資その他の資産	174,334	191,908
流動資産	687,413	678,487
繰延資産	—	27
<b>資産合計</b>	<b>2,472,322</b>	<b>2,480,591</b>
<b>(負債の部)</b>		
固定負債	694,118	552,083
流動負債	602,782	652,404
<b>負債合計</b>	<b>1,296,900</b>	<b>1,204,487</b>
<b>(少数株主持分)</b>		
少数株主持分	13,229	15,187
<b>(資本の部)</b>		
資本金	141,851	141,851
資本剰余金	304,189	304,189
利益剰余金	739,448	826,036
其他有価証券評価差額金	9,858	20,451
為替換算調整勘定	△ 1,650	△ 536
自己株式	△ 31,505	△ 31,076
<b>資本合計</b>	<b>1,162,191</b>	<b>1,260,916</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>2,472,322</b>	<b>2,480,591</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>47.0%</b>	<b>50.8%</b>

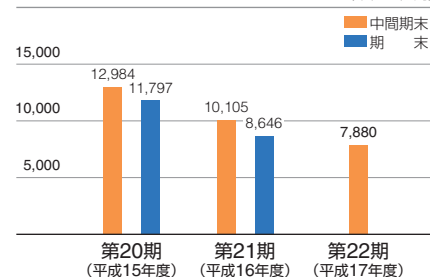
### 総資産

(単位:億円)



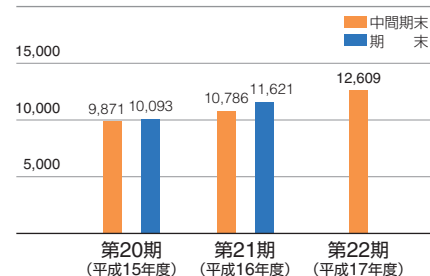
### 有利子負債

(単位:億円)



### 自己資本

(単位:億円)



(注) 記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

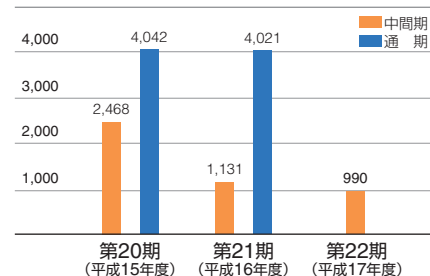
（単位：百万円）

	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,529	270,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 117,389	△ 171,446
フリー・キャッシュ・フロー	113,139	99,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 177,418	△ 90,543
現金及び現金同等物の中間期末残高	132,396	231,457

（注）記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。

## フリー・キャッシュ・フロー

（単位：億円）



営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ39,954百万円増加し、270,483百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前中間純利益が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ54,057百万円減少し、171,446百万円の支出となりました。これは主に設備投資が増加したことによるものであります。

またフリー・キャッシュ・フローは、前中間期に比べ14,102百万円減少し、99,036百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済、配当金の支払等により、90,543百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は、前連結会計年度末と比べ8,926百万円増加し、231,457百万円となりました。

（注）フリー・キャッシュ・フローは「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」の合計であります。

## 配当金

（注）KDDI株式会社単体の配当金

（単位：円）

	前 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
中間配当金	※ 3,400	3,500
期末配当金	3,500	3,500(予定)
年間配当金	6,900	7,000(予定)

※ 記念配当1,000円含む

## 配当金

（単位：円）

